



# 無料公衆無線LAN整備促進協議会の動向 整備促進PT、認証連携PT

平成27年2月9日(月)

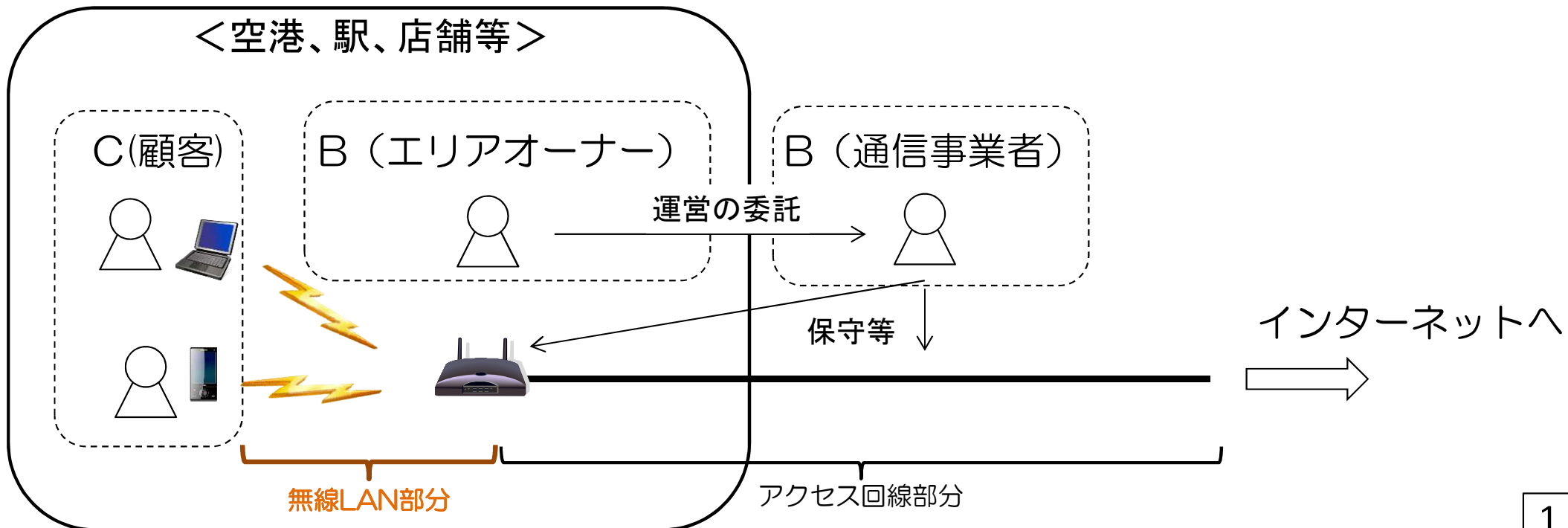
総務省・観光庁



## 無料公衆無線LANの仕組み

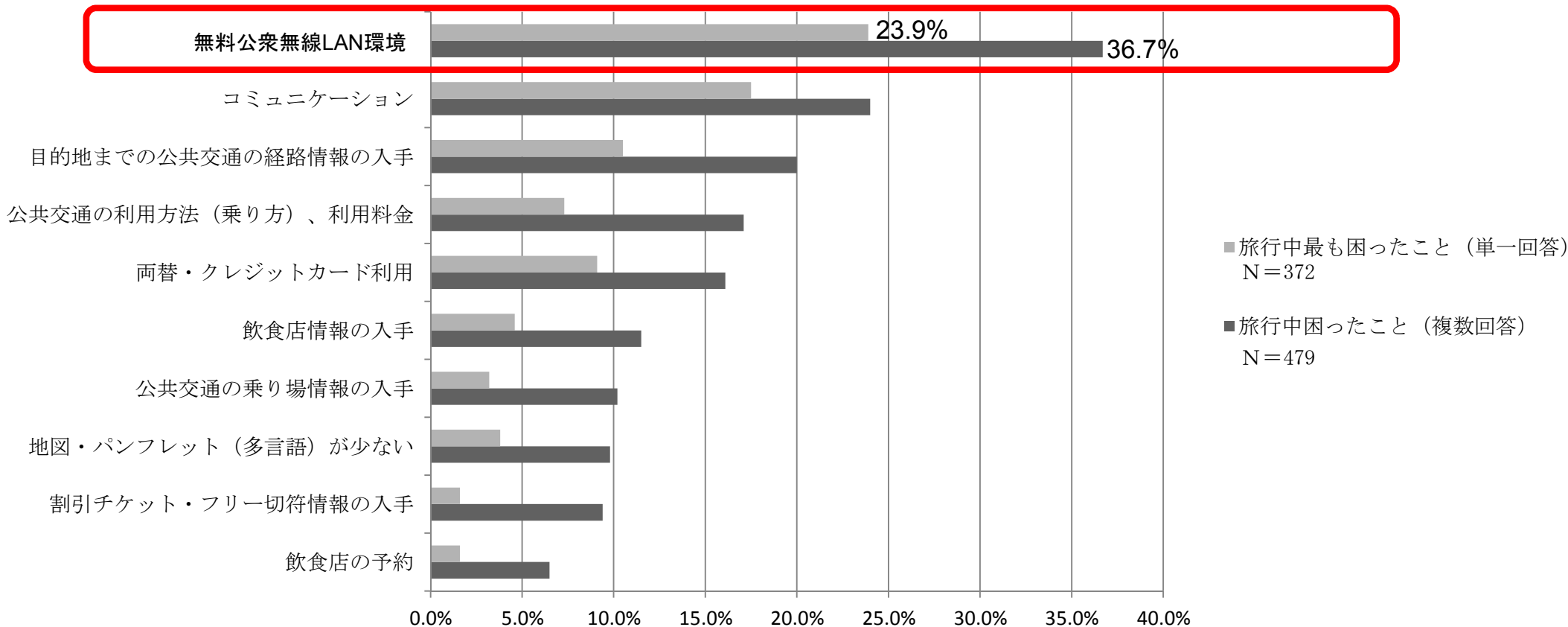
- 無料公衆無線LANは利用者にとって無料であるが、無料公衆無線LANの運用の際には、光ファイバーなどの回線費やアクセスポイントなどの器機の使用、認証のためのサーバー費等の費用が発生。
- 多くの場合、空港、駅、小売店、自治体等のエリアオーナーがそれらの費用を負担し、通信事業者に運用を委託するなどして、無料公衆無線LANの提供がされている。
- エリアオーナーは顧客に対するおもてなしや顧客情報の収集のため、無料公衆無線LANを提供

## 無料公衆無線LANの提供例



○ 観光庁が、平成23年10月に、成田国際空港、東京観光情報センター等で外国人旅行者に行った「旅行中困ったこと」に関するアンケート結果によれば、「無料公衆無線LAN環境」への不満が36.7%と最多となった。

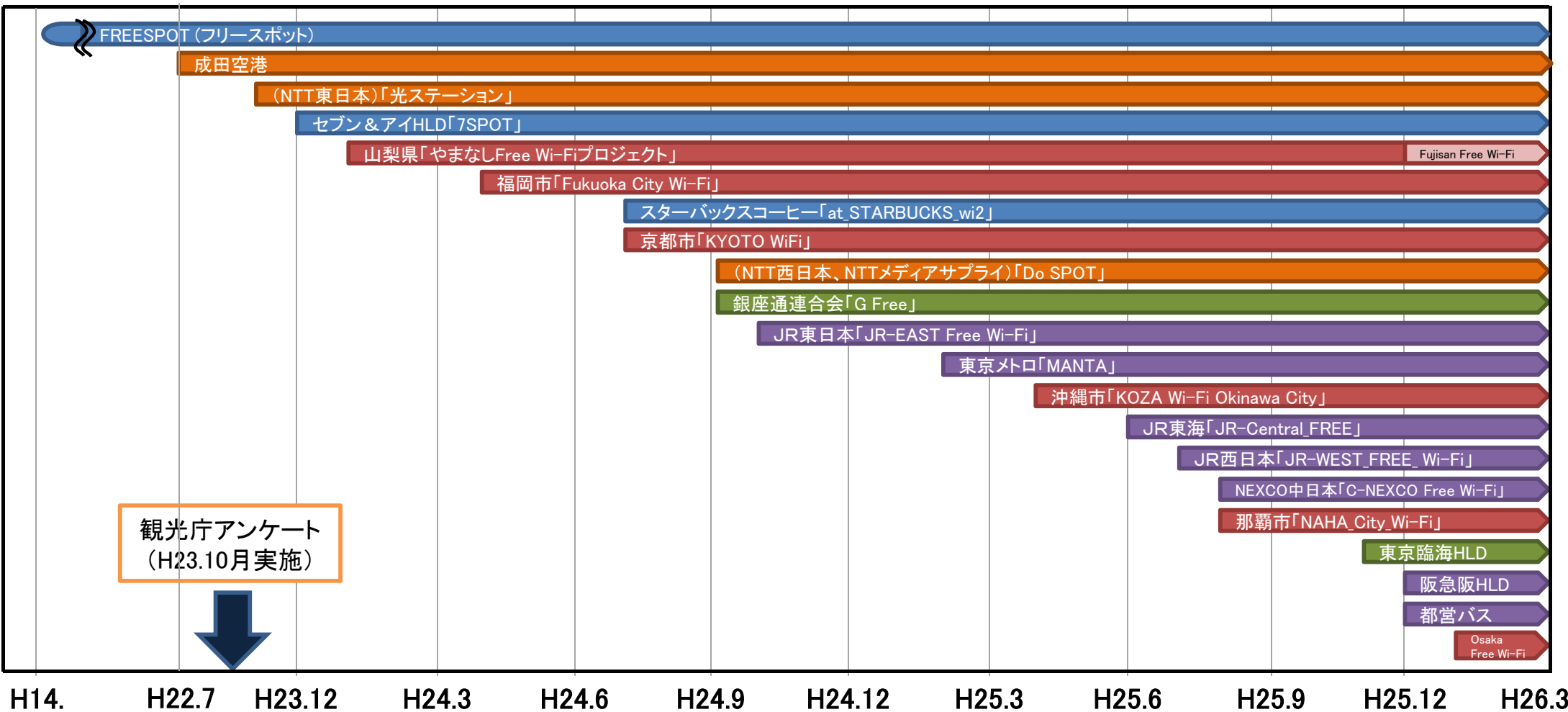
## 外国人旅行者が旅行中困ったこと



平成23年度第3回訪日外国人旅行者の受入環境整備に関する検討会 (2012年3月14日) 資料「外国人旅行者の日本の受入環境に対する不便・不満」より外国人観光案内所を訪問した外国人旅行者アンケート調査結果 (平成23年10月実施) のうち上位のみ抜粋

# 主な無料公衆無線LANの提供開始時期

- 観光庁が、平成23年10月、成田国際空港、東京観光情報センター等で外国人旅行者に行った「旅行中最も困ったこと」に関するアンケート結果によれば、「無料公衆無線LAN環境」への不満が約24%と最多であった。
- 日本で提供されている主な無料公衆無線LANサービスは、上記観光庁アンケート調査が実施された時期より後に提供が始まっているものがほとんどであり、その提供開始時期は以下の通りである。



※ 無料公衆無線LANアクセスポイント数の設置状況の推移 (NTTBPが提供に関与するものの場合)

約2,000箇所 (H24年3月末) → 約33,000箇所 (H26年9月末)

主要キャリア事業者の無料公衆無線LANアクセスポイント設置総数、13万台 (2014年9月末時点)

○ 総務省が本年3月に実施した、過去半年間に日本を訪れて無料公衆無線LANを利用した外国人に対するWebアンケート調査結果では、日本の無料公衆無線LANについて、「満足した」63.6%、「十分ではないが、特段大きな問題はなかった」32.7%、「満足できなかった」3.7%となった。観光庁による調査時点より、大きく改善しているものの、約36%の者が十分ではないとしているところ。

## 日本の無料無線LANを利用した感想

■ 満足した ■ 十分ではないが、特段大きな問題はなかった ■ 満足できなかった

		(n)	(%)		
全体		272	63.6	32.7	3.7
C O U N T R Y	アメリカ	39	92.3	7.0	0.0
	イギリス	33	90.9	9.1	0.0
	フランス	26	84.6	11.5	3.8
	中国	69	72.5	24.6	2.9
	台湾	59	45.8	52.5	1.7
	韓国	46	17.4	69.6	13.0

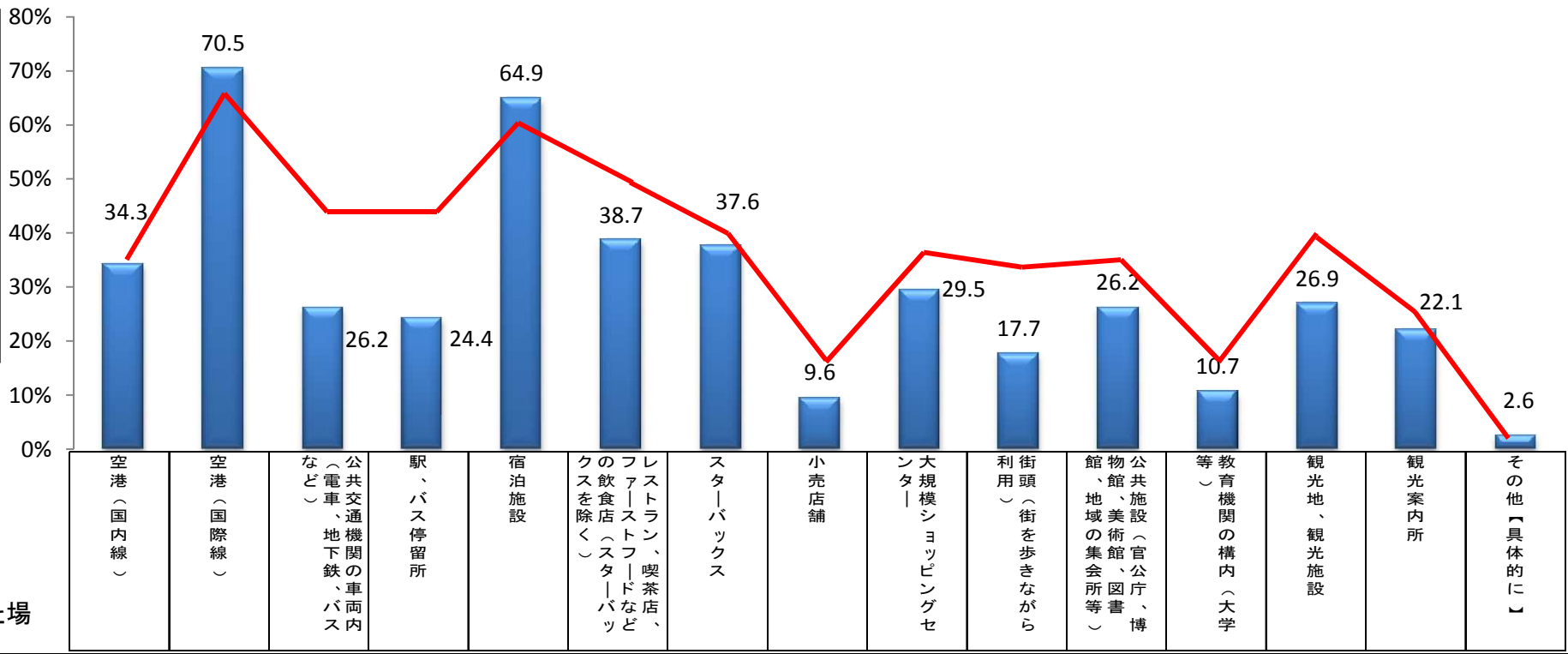
「国内と諸外国における公衆無線LANの提供状況及び訪日外国人旅行者のICTサービスに関するニーズの調査研究」（平成26年3月）より【矢野経済研究所実施】

- ・過去1年間に訪日経験のある、アメリカ、イギリス、フランス、中国、韓国、台湾の各国200名（台湾のみ188名）、合計1188名を母集団としたWebアンケート調査
- ・訪日の際に無料公衆無線LANを利用したと回答した者の中から、さらに過去半年間に訪日して無料公衆無線LANを利用した者に限定して、満足度を調査

○ 日本で無料公衆無線LANを利用した場所として多く挙げられた「空港(国際線)」、「宿泊施設」は、今後、無料公衆無線LANを利用したい場所としても多く挙げられた。

Q1.日本で無料公衆無線LANを利用した場所  
(複数回答可)  
Q2.今後、日本で無料公衆無線LANを利用したい場所  
(複数回答可)

■ :全体(Q1)  
— :全体(Q2)  
※グラフ中の数値はQ1の結果  
■ 50%以上の者が答えた場所



	全体(Q1)	アメリカ	イギリス	フランス	中国	台湾	韓国	全体(Q2)	アメリカ	イギリス	フランス	中国	台湾	韓国
利用した場所	271	38	33	26	69	59	46	1188	200	200	200	200	188	200
	34.3	50.0	30.3	34.6	43.5	25.4	21.7	41.1	41.0	35.0	28.5	60.0	46.8	35.5
	70.5	71.1	72.7	69.2	75.4	67.8	65.2	65.6	56.0	57.0	48.0	83.5	77.1	72.5
	26.2	31.6	12.1	11.5	43.5	23.7	17.4	43.9	45.5	31.5	24.5	53.0	59.6	50.0
	24.4	28.9	9.1	34.6	27.5	25.4	19.6	43.4	33.0	39.5	42.0	47.5	56.9	42.0
	64.9	36.8	54.5	53.8	63.8	79.7	84.8	60.1	41.5	51.5	34.5	75.5	79.3	79.5
	38.7	65.8	27.3	19.2	58.0	28.8	19.6	47.1	47.0	36.5	24.0	68.5	60.1	47.0
	37.6	60.5	21.2	23.1	56.5	22.0	30.4	39.7	48.5	29.5	23.0	59.0	39.4	39.0
	9.6	23.7	12.1	11.5	1.4	10.2	6.5	19.2	27.5	22.0	12.0	16.0	22.3	15.5
	29.5	31.6	12.1	30.8	50.7	18.6	21.7	37.4	30.0	29.0	19.5	58.5	48.4	39.5
	17.7	23.7	12.1	19.2	18.8	13.6	19.6	32.3	26.5	20.0	16.5	38.0	43.5	43.5
	26.2	34.2	12.1	15.4	42.0	27.1	10.9	34.8	25.0	27.0	14.0	51.5	56.4	36.5
	10.7	21.1	3.0	26.9	7.2	8.5	6.5	18.9	15.0	14.0	10.0	26.5	27.7	20.5
	26.9	13.2	12.1	15.4	44.9	35.6	17.4	41.8	23.0	22.5	17.0	61.5	69.7	58.5
	22.1	10.5	0.0	11.5	37.7	37.3	10.9	29.6	14.5	17.0	14.0	48.5	54.3	31.0
	2.6	7.9	6.1	0.0	0.0	0.0	4.3	1.2	1.0	2.0	1.5	0.5	1.1	1.0

・ 「国内と諸外国における公衆無線LANの提供状況及び訪日外国人旅行者のICTサービスに関するニーズの調査研究」(平成26年3月)より  
 ・ Q1については、アンケート母集団の中から、過去半年間に訪日して無料公衆無線LANを利用した者に限定して、利用場所を調査

## 【鉄道】

提供場所・利用可能エリア		提供開始時期	備考
JR北海道	主要5駅（新千歳空港駅、札幌駅、小樽駅、旭川駅、函館駅）	平成25年11月	訪日外国人のみ利用可
JR東日本	主要17駅（東京駅、成田空港駅、空港第2ビル駅、浜松町駅、田町駅、渋谷駅、原宿駅、代々木駅、新宿駅、池袋駅、上野駅、御徒町駅、秋葉原駅、神田駅、舞浜駅、品川駅、横浜駅）	平成24年10月	
JR東海	東海道新幹線の主要6駅（東京駅、品川駅、新横浜駅、名古屋駅、京都駅、新大阪駅）	平成25年6月	
JR西日本	主要26駅（富山、金沢、福井、嵯峨嵐山、ユニバーサルシティ、JR難波、奈良、姫路、和歌山、尾道、米子、新山口、下関等）	平成25年7月	
JR九州	福岡市内主要8駅（博多、九大学研都市、福工大前、九産大前、香椎、千早、吉塚、南福岡）	平成25年6月	福岡市が提供
東京地下鉄	都営地下鉄、東京メトロ 主要143駅	平成26年12月	
東京都交通局			
京都市営地下鉄	主要13駅（烏丸御池、四条、五条、京都、九条、十条、くいな橋、竹田、京都市役所前、三条京阪、東山、蹴上、御陵）	平成24年7月	今後、全駅に展開予定
福岡市営地下鉄	福岡市営地下鉄全駅	平成24年4月	
東京モノレール	羽田空港国際線ターミナル駅	平成24年10月	JR東日本が提供

【鉄道】

提供場所・利用可能エリア		提供開始時期	備考
東急電鉄	渋谷駅	平成26年3月	訪日外国人のみ利用可
京急電鉄	京急電鉄全駅	平成26年3月	訪日外国人のみ利用可
阪急電鉄	阪急電鉄全駅	平成25年12月	
阪神電車	阪神電車全駅	平成25年12月	
南海電鉄	主要12駅（なんば、新今宮、天下茶屋、住吉大社、堺、湊、泉佐野、岸和田等）	平成26年2月	公益財団法人 大阪観光コンベンション協会（大阪観光局）が提供
近鉄	主要8駅（大阪難波、近鉄日本橋、布施、石切、大阪阿部野橋、富田林、河内長野、新石切）		
京阪電車	主要8駅（淀屋橋、北浜、天満橋、京橋、中之島、渡辺橋、大江橋、なにわ橋）		



**【空港】** 国内97空港のうち、54空港で利用可能。このうち、拠点空港(※)28空港においては22空港で、国際線が発着している29空港においては26空港でそれぞれ利用可能。

提供場所・利用可能エリア		提供開始時期	備考
成田国際空港	第1・第2ターミナル全域	平成22年6月	
東京国際空港 (羽田)	国内線第1・第2旅客ターミナル館内全エリア	平成23年11月	
関西国際空港	第1・第2ターミナル館内全エリア、エアプロラザ館内全エリア	平成26年4月	平成25年11月から順次エリア拡大
中部国際空港	到着エリア(国際、国内)、出発ロビー、待合ロビーなど	平成24年3月	
福岡空港	国内線ターミナル、国際線ターミナル	平成25年2月	福岡市が提供

(※)拠点空港:国際航空輸送網又は国内航空輸送網の拠点となる空港として、国土交通大臣が設置し、管理する空港(空港法第4条第1項)。

## 【バス】

提供場所・利用可能エリア		提供開始時期	備考
都営バス	都営バス全線の路線バス車内	平成25年12月	
彌榮(やさか)自動車	京都市・向日市・長岡京市⇔関西空港のシャトルバス・シャトルタクシー車内	平成25年8月	
西日本鉄道	福岡⇔横浜・池袋(大宮)間および福岡・北九州⇔東京(新宿)間的高速バス車内	平成24年12月	

日本再興戦略」改訂2014(平成26年6月24日閣議決定)

## 4 世界最高水準のIT社会の実現

### (3) 新たに構ずべき具体的施策

④新たなイノベーションの基盤となる無料公衆無線LAN環境の整備等  
2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、訪日外国人旅行者等に豊かなおもてなしサービスを提供するとともに、新たなイノベーション創出を図るため、観光地や防災拠点等における無料公衆無線LAN環境の整備を促進する。このため、関係事業者・団体等の参画による推進体制を本年夏までに構築し、エリアオーナーに対する整備の働きかけ、認証手続の簡素化・一元化に向けた検討、海外向け情報発信、整備を実施する地方公共団体等への支援等を進める。また、ニーズに応じた多様な通信手段の確保のため、国内発行SIMカードの利用開始手続きの改善や国際ローミング料金の低廉化その他訪日外国人が国内に一時的に持ち込む端末の利用の円滑化等について検討を進め、次期通常国会を目途に必要な法制上の措置等を講ずる。

## 経済財政運営と改革の基本方針2014(平成26年6月24日閣議決定)

## (2) 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等の開催に向けた取組

東京大会等は、参加国との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興、環境技術と科学技術イノベーションの発信等<sup>45</sup>に資することを重視して取り組む。東京大会等を契機として、スポーツを通じた街おこしやバリアフリー対応、大都市等の安全・安心対策を推進する。東京大会等に向けて、国内外へのオリンピックムーブメントの推進を通じた国際貢献や寄附の促進、障害者スポーツの推進、文化プログラムの実施に向けて全国の自治体等と連携した取組を行う。また、観光資源の掘り起こしや、日本ブランドを活かした海外発信等の取組を加速し、2020年に向けて、訪日外国人旅行者数2000万人の高みを目指す<sup>46</sup>。

46 その他、東京大会等の開催等に伴う一時的な建設需要の増大に対応するため、建設分野の技能実習修了者がそれまでの間、建設業務に従事できる措置を講じる(「建設分野における外国人材の活用に係る緊急措置」(平成26年4月4日、建設分野における外国人材の活用に係る緊急措置を検討する閣僚会議))。

なお、建設業との間で人材の相互流動が大きい造船業についても、同様の緊急かつ時限的措置を講じる。無料公衆無線LANを始めとする訪日外国人の利用に対応したICT利用環境を整備する。

世界最先端IT国家創造宣言(平成26年6月24日閣議決定)

### Ⅲ. 目指すべき社会・姿を実現するための取組

#### (6) 東京オリンピック・パラリンピック等の機会を捉えた最先端のIT利活用による「おもてなし」の発信

本戦略の目標年である2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、国内外から多数の観光客等が見込まれるところ、観光情報等のオープンデータの利用促進、4K、8K等の次世代放送・通信サービス、デジタルサイネージ、世界最先端のITSによる道路交通サービス、無料公衆無線LAN等の低廉で快適に利用できる通信ネットワークインフラの推進、言葉の壁をなくす多言語音声翻訳システムの高度化や、ID連携トラストフレームワークの整備等について、サイバーセキュリティなど、安全・安心の確保を図りつつ、最先端のIT利活用による「おもてなし」を提供し、広く世界に発信することにより、IT利活用の裾野を拡大するとともに、産業競争力の強化を図る。

## 観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014(平成26年6月17日観光立国推進閣僚会議決定)

### 5.外国人旅行者の受け入れ環境整備

#### (2)無料公衆無線LAN環境の整備促進など、外国人旅行者向け通信環境の改善

○沢山の外国人に日本の良さを知ってもらい、リピーターを確保するためには、外国人旅行者に観光情報をあまさず収集して日本の良さを体感してもらい、実際に体験した日本の魅力をリアルタイムで発信してもらうべく、世界に誇る通信品質を活かして外国人向けの通信環境を整えることが重要である。近年、外国人旅行者等呼び込もうとする地域や事業者等の取組により、急速に無料公衆無線LAN環境の整備が進みつつあるが、以下により、更に取組を推進する。

- ・総務省と観光庁が協力して、無料公衆無線LAN環境の整備促進のための体制づくりを行う。【新規】
- ・上記の体制を活用して、①外国人旅行者の訪問地を念頭においた無料公衆無線LAN環境整備の更なる促進、②エリアオーナーに対する無料公衆無線LAN環境の整備に係る働きかけと先進事例の周知、③海外への周知・情報発信、④一度の登録で複数のシステムにサインインできるアプリの活用促進を含め、外国人旅行者により使いやすくするための認証手続の簡素化、⑤外国人旅行者に分かりやすい共通シンボルマーク(『Japan. Free Wi-Fi』(仮)マーク)の導入による「見える化」の推進等の取組を推進する。※【新規】

※訪日外国人のICT利用環境整備に向けたアクションプラン「<sup>サクサク</sup>SAQ JAPAN Project」(平成26年6月総務省発表)と連携。

- ・外国人旅行者の多様なニーズを踏まえつつ、上記取組を補完すべく、外国人旅行者が利用しやすい携帯ルーター・SIMカードの貸出・販売サービスの促進や国際ローミング料金の低廉化を通じて、多面的な通信環境の改善を図る。その内、例えば、SIMカードの利用促進については、SIMカードの取得や認証の円滑化等、多様なニーズを汲み上げて、外国人旅行者が持参した海外端末で利用しやすい通信環境の実現を図る。【新規】
- ・外国人旅行者に対して、英語案内板・無料公衆無線LAN環境を活用した多言語による道路情報等の提供を図る。

【改善・強化】

- 「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」に基づき、訪日外国人旅行者数2000万人の高みを目指すためには、外国人が一人歩きできる環境の整備が重要である。
- 総務省と観光庁が協力して、無料公衆無線LAN環境の整備のための体制づくりを行い、利用できる場所のわかりやすさや利用手続きの簡素化を含めて更に取組を推進していく。

## 協議会の活動内容

### ①整備促進

- ・企業、自治体等に対する講習会の開催や先進的な取組事例等の共有

### ②周知・広報

- ・無料公衆無線LANの利用場所等の情報収集・海外への情報発信
- ・シンボルマーク(「Japan. Free Wi-Fi」マーク(仮))の導入

### ③認証の簡素化・一元化

- ・事業者の枠を超えて、認証の連携による簡素化等を実現する方策の検討・実証実験

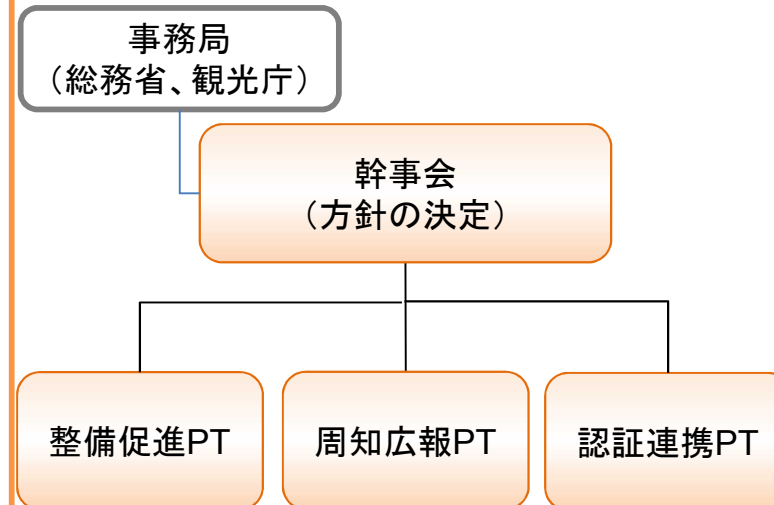


<第1回幹事会の様子>

## 協議会のメンバーとなる業界団体・企業等

- 空港 : (一社)全国空港ビル協会、成田国際空港(株)、新関西国際空港(株)、中部国際空港(株)
- 港湾 : みなとオアシス全国協議会、全国クルーズ活性化会議
- 鉄道 : 東日本旅客鉄道(株)、(一社)日本民営鉄道協会、(一社)日本地下鉄協会
- 自動車 : (公社)日本バス協会、(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社)全国レンタカー協会
- 道路 : 東日本高速道路(株)、首都高速道路(株)、全国道の駅連絡会
- 宿泊施設 : (一社)日本旅館協会、(一社)日本ホテル協会、(一社)全日本シティホテル連盟、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会
- 商業施設等 : (一社)不動産協会、(一社)日本ショッピングセンター協会、(一社)日本フランチャイズチェーン協会
- 自治体 : 東京都、福岡市
- 通信事業者 : 無線LANビジネス推進連絡会、(一社)電気通信事業者協会、(一社)テレコムサービス協会、(一社)日本インターネットプロバイダー協会、(一社)日本ケーブル連盟

## 体制



# 1. 整備促進プロジェクトチーム

---

○協議会の目的である、無料公衆無線LANの整備促進、海外への周知・広報、利用の円滑化を検討・実施するため、それぞれの役割に応じたプロジェクトチームを設置。

## 整備促進プロジェクトチーム

- 〈目的〉  
無料公衆無線LANの整備促進の現状を踏まえ、協議会として整備促進に係る方向性を検討する。また、通信事業者とエリアオーナーとのマッチング等について検討する。
- 〈活動内容〉
- ・ **無料公衆無線LANスポットの設置状況の現状把握**
  - ・ 整備促進するための方向性の検討
  - ・ 無料公衆無線LANスポット整備を促進するためのセミナー開催 等

## 認証連携プロジェクトチーム

- 〈目的〉  
現状、無料公衆無線LANのサービス毎に異なる認証手続きについて、認証の連携による簡素化等を実現する方法等について、検討する。
- 〈活動内容〉
- ・ **認証手続きの簡素化等の方策について関係者との調整**
  - ・ 認証手続きの簡素化等における技術的方向性の検討
  - ・ 認証手続きの簡素化等における実証実験の実施 等

## 周知・広報プロジェクトチーム

- 〈目的〉  
スポット情報の収集等の在り方と併せて統一したシンボルマーク(「Japan. Free Wi-Fi(仮)」)掲出に係る検討を進め、海外に対する周知等について検討する。
- 〈活動内容〉
- ・ 協議会としての周知・広報の方法についての検討
  - ・ **シンボルマーク(「Japan. Free Wi-Fi(仮)」)の掲出基準を検討**
  - ・ 周知・広報に係る費用の調達等の検討
  - ・ シンボルマーク(「Japan. Free Wi-Fi(仮)」)の訪日外国人旅行者への更なる周知方法を検討 等





- 空港やホテル、地下鉄、商業施設等、無料公衆無線LANを設置する施設のオーナー様に対し、① アクセスポイントの設置状況の把握と認証手続きの種類等を調査するアンケートと、② コスト回収のスキームをヒアリングさせて頂くアンケートの2種類を作成。
- 2月上旬より、無料公衆無線LAN整備促進協議会の構成員様を通じて、協会に加盟されている各社にアンケートの配布をして頂いている状況。
- 2月末（2月27日）にアンケートの回収を行い、事務局にて統計処理を施しエリアオーナー様が特定されないように加工した上で、3月下旬にアンケート結果（速報ベース）を整理。第4回以降のPTで方向性の検討に活用していく予定。

## アンケート概要

### ① 無料公衆無線LANサービスの現状調査のアンケート

- ・ 整備状況の実態把握を行い、重点整備箇所の検討を行う
- ・ 認証手続きの種類、利用上の制限事項、登録に必要な個人情報等、認証連携のシステム設計・構築に必要な基礎情報の収集。

### ② 無料公衆無線LAN整備のコスト負担に係るモデルケースを調査するアンケート

- (1) 無料公衆無線LANサービスを導入済みの方
  - ・ インシヤルコスト、ランニングコストをどのように負担されているのかについてコスト回収のスキームをヒアリングするもの
- (2) 無料公衆無線LANサービスの未導入の方（導入を検討中、導入予定の方含む）
  - ・ 導入していない理由や導入する上でのハードル等をヒアリングするもの

# ① 無料公衆無線LANサービスの現状調査のアンケート

○ 自治体やエリアオーナー様に対し、無料公衆無線LANサービスの提供エリア、都道府県別の整備状況(\*)、バックホールの回線タイプ、無線区間の暗号化方式、対応言語等について調査をして頂き、事務局まで提示をお願いするもの

## アンケートフォーマット

(各施設毎に1行(サービスが複数ある場合は複数行も可)を作成)

資料1-1

サービス名称	SSID名	事業者名	施設タイプ	AP 総設置台数	無線区間の 暗号化	バックホール 回線タイプ	対応言語	備考
(例) SOMU_フリーWiFi スポット	SOMU_Free_WiFi	総務コーヒー	コーヒー ショップ	560	暗号化なし	光ケーブル	英語 中国語	

(※) 全国に多店舗展開されている事業者様には、別途、都道府県別の整備状況についてのアンケートもご依頼。

資料1-2			
○都道府県別の無料公衆無線LANの整備状況に関する調査			
2015年〇〇月 現在			
事業者名	所在地 (都道府県)	無料公衆無線LANを 整備している店舗数	無料公衆無線LAN アクセスポイント設置台数
(例) 総務コーヒー	北海道		
	青森県		
	岩手県		
	宮城県		
	秋田県		
	山形県		
	福島県		
	茨城県		
	栃木県		
	群馬県		
	埼玉県		

2月上旬より順次、アンケートを展開中。  
○ アンケート回収：2月27日(金)

- 無料公衆無線LANは、鉄道・空港等の公共交通機関、ホテル・コンビニエンスストア・コーヒーショップ等の商業施設の所有者など、多様な民間等のエリアオーナー様のご努力により、ビジネスベースで整備されてきたところである。
- 今後の外国人旅行者向けに利用が見込まれる地点等での整備を促進させるため、イニシャルコスト、ランニングコスト回収の成功事例をお聞かせ頂くもの。

### 資料2

本調査は、無料公衆無線LAN整備のコスト負担に係るモデルケースを調査し、今後の整備促進に関する政策の策定に資することを目的としております。

■ 無料公衆無線LANを導入されている方は、イニシャルコスト、ランニングコストをどのように負担されているのかをご記載下さい。

また、コストを回収するスキームがあれば、あわせてご記載下さい。

■ 無料公衆無線LANを導入されていない方（導入を検討中、導入予定の方含む）は、導入していない理由やハードル等があるようでしたらご記載下さい。

（例）

#### 【導入済みの方】

- ・イニシャル・ランニングコストは自社で負担したが、登録してもらったユーザの情報をビジネスに利活用することで負担したコストの回収を図っている。
- ・コストのすべてを自社負担しており、お客様へのサービスの一環として考えているのでコストの回収は考えていない。

#### 【未導入の方】

- ・導入する際のイニシャルコストを支出することができないために導入できていない。
- ・導入することの必要性を感じていない。また、外国人旅行者からの要望がない。
- ・有料の無線LANサービスや、有料ブロードバンドの普及への影響が気になる。

（ご回答欄）

ご回答内容の公開について、該当する方にチェックして下さい。

公開可  統計処理を行った上で、公開可

## OPT第1回（12月12日）【完了】

- ・アンケートについて
- ・無料公衆無線LAN取組事例について（事務局からプレゼン）

★アンケート作成（1月末）

★アンケート配布（2月2日より、順次配布。）

## OPT第2回（2月24日）【調整中】

- ・無料公衆無線LAN取組事例（1回目）  
事業者プレゼン（2～3社）

★アンケート回収 2月27日（金）

## OPT第3回（3月中旬）

- ・無料公衆無線LAN取組事例（2回目）  
事業者プレゼン（2～3社）

## OPT第4回（3月下旬）

- ・アンケート結果（速報）
- ・無料公衆無線LAN取組事例まとめ
- ・整備の優先事項について

## OPT第5回（4月中旬）

- ・アンケート結果
- ・外国人向けのアンケート結果（観光庁）
- ・整備の優先事項について

第2回、第3回については、  
構成員からプレゼン頂くことを予定。  
次回、プレゼンター選定のため調整中

この他、  
適宜セミナーを開催予定

## 2. 認証連携プロジェクトチーム

---

○協議会の目的である、無料公衆無線LANの整備促進、海外への周知・広報、利用の円滑化を検討・実施するため、それぞれの役割に応じたプロジェクトチームを設置。

## 整備促進プロジェクトチーム

- 〈目的〉  
無料公衆無線LANの整備促進の現状を踏まえ、協議会として整備促進に係る方向性を検討する。また、通信事業者とエリアオーナーとのマッチング等について検討する。
- 〈活動内容〉
- ・ **無料公衆無線LANスポットの設置状況の現状把握**
  - ・ 整備促進するための方向性の検討
  - ・ 無料公衆無線LANスポット整備を促進するためのセミナー開催 等

## 認証連携プロジェクトチーム

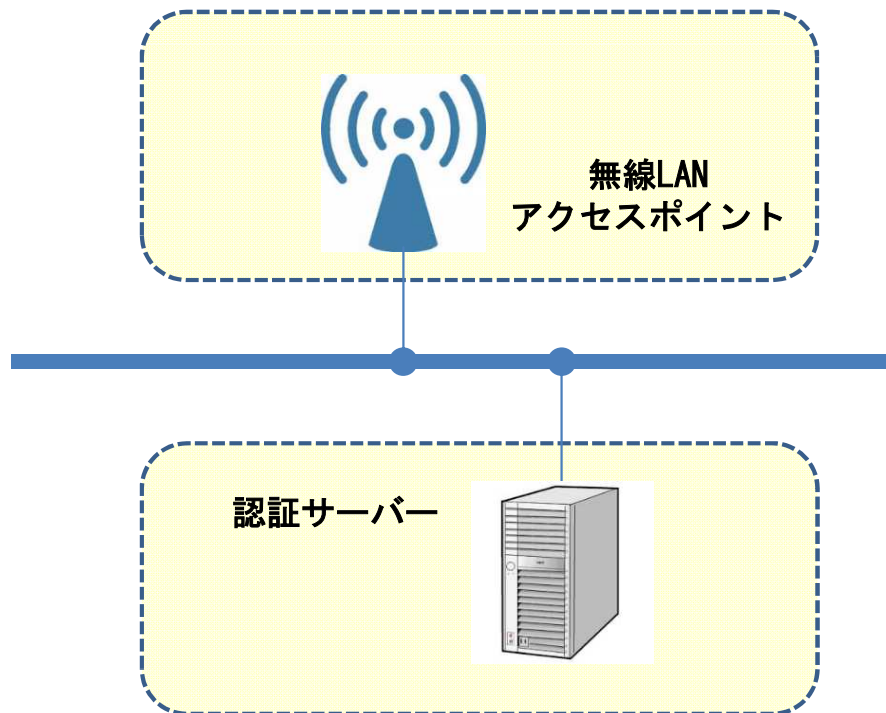
- 〈目的〉  
現状、無料公衆無線LANのサービス毎に異なる認証手続きについて、認証の連携による簡素化等を実現する方法等について、検討する。
- 〈活動内容〉
- ・ **認証手続きの簡素化等の方策について関係者との調整**
  - ・ 認証手続きの簡素化等における技術的方向性の検討
  - ・ 認証手続きの簡素化等における実証実験の実施 等

## 周知・広報プロジェクトチーム

- 〈目的〉  
スポット情報の収集等の在り方と併せて統一したシンボルマーク(「Japan. Free Wi-Fi(仮)」)掲出に係る検討を進め、海外に対する周知等について検討する。
- 〈活動内容〉
- ・ 協議会としての周知・広報の方法についての検討
  - ・ **シンボルマーク(「Japan. Free Wi-Fi(仮)」)の掲出基準を検討**
  - ・ 周知・広報に係る費用の調達等の検討
  - ・ シンボルマーク(「Japan. Free Wi-Fi(仮)」)の訪日外国人旅行者への更なる周知方法を検討 等



- ✦ 無料公衆無線LANの認証には、無線区間のセキュリティに係る認証（暗号化方式）と、無料公衆無線LAN利用時に登録済みのユーザであるか判別するために行われる認証の2つがある。
- ✦ 本認証連携PTの目的は、訪日外国人旅行者に対する無料公衆無線の認証の連携による利用手続きの簡素化等の検討を行うことであることから、後者の意味での認証と捉えて議論を行うことを想定。



無線区間のセキュリティに係る認証（暗号化方式）  
(例) 802.1x認証 (WPA2/AES) 等

無料公衆無線LAN利用時に登録済みのユーザであるか判別するために行われる認証  
(例) ユーザID/パスワード等

	無料公衆無線LANサービス	(参考) 有料公衆無線LANサービス (キャリアWi-Fi)
SSID (例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ FreeWiFi-NARITA</li> <li>▪ 7SPOT</li> <li>▪ JR-EASTFREEWi-Fi</li> <li>▪ at_STARBUCKS_Wi2</li> <li>▪ Fukuoka_City_Wi-Fi</li> <li>▪ kyotoWi-Fi</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 0001docomo</li> <li>▪ au Wi-Fi</li> <li>▪ 0001softbank</li> <li>▪ 0000FLETS-SPOT</li> <li>▪ NTTWEST-SPOT</li> <li>▪ Wi2premiumClub</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
認証方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ エリアによって区々 登録無</li> <li>▪ メールアドレス登録</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 事業者によって区々 ID/PASS SIM</li> </ul>
エリア	<p>全国 (例) 空港、鉄道、ホテル、カフェ、自治体 等</p>	<p>全国</p>



提供者名等	提供開始	初回利用の登録手続、利用条件等
セブン&アイHLD 「7SPOT」	H23年12月	<p>【初回利用の登録手続】</p> <p>①メールアドレス、性別、誕生年、メルマガ等の配信希望の入力、②パスワード設定、③利用規約への同意、④返信されるメールのリンクから本登録(仮登録でメールの利用が可能)</p> <p>【利用条件】</p> <p>60分/回、1日3回まで</p>
ファミリーマート 「Famima_Wi-Fi」	H25年5月	<p>【初回利用の登録手続】</p> <p>①メールアドレス、性別の入力、②パスワード設定、③利用規約への同意、④返信されるメールのリンクから本登録(仮登録でメールの利用が可能)</p> <p>【利用条件】</p> <p>20分/回、1日3回まで</p>
ローソン 「LAWSON Wi-Fi」	H24年4月	<p>【初回利用の登録手続】</p> <p>(事前にポイント会員サービス「Ponta」入会が必要)</p> <p>①専用アプリの導入(事前のダウンロードが必要)、②Ponta会員ID、電話番号、生年月日、パスワードの入力</p>
スターバックス 「at_STARBUCKS_wi2」	H24年7月	<p>【初回利用の登録手続】</p> <p>①メールアドレスの入力、②パスワード設定、③利用規約への同意 (返信されるメールのリンクから本登録が必要)</p> <p>【SNSによる登録手続】</p> <p>Facebook、Twitter、Yahoo! JAPAN、Google アカウントにてログインが可能</p>
イオン 「イオンWiFi」	H25年11月	<p>【初回利用の登録手続】</p> <p>①メールアドレスの入力、②利用規約への同意、③セキュリティ上の注意事項への同意(メールへの返信は無し)</p>

提供者名等	提供開始	初回利用の登録手続、利用条件等
那覇市 「NAHA_City_Wi-Fi」	H25年8月	<b>【初回利用の登録手続】</b> ①氏名、メールアドレスの入力、②パスワード「78787878」の入力
福岡市 「Fukuoka City Wi-Fi」	H24年4月	<b>【初回利用の登録手続】</b> ①氏名、メールアドレスの入力、②利用規約への同意 <b>【利用条件】</b> 15分/回
京都市 「KYOTO Wi-Fi」	H24年7月	<b>【初回利用の登録手続】</b> (1) KYOTO_WiFiを利用する場合 ログイン画面の利用規約への同意 (2) KYOTO_WiFi02を利用する場合 空メールの送信(返信されるメールに記載されたゲストコードを ログインの際に入力することが必要)
大阪観光局 「Osaka Free Wi-Fi」	H26年1月	<b>【初回利用の登録手続】</b> ①メールアドレスの入力、②セキュリティ上の注意事項への同意 <b>【利用条件】</b> 30分/回 (Osaka Free Wi-Fi) 15分/回、1日4回まで (Osaka Free Wi-Fi Lite)

- ✓ 無料公衆無線LANサービスの認証方法は、エリアオーナーのサービス提供方針として複数のパターンが存在。
- ✓ 小売店等のエリアオーナーによっては、ビッグデータとして活用するため、メールアドレス、年齢、性別等の顧客情報の登録を求めている。

## 認証方式の例

メールアドレス等の登録なしで利用開始



メールアドレス等を登録して利用開始



登録したメールアドレスにWi-Fi利用のためのID/PWを送信



登録メールアドレスにID/PWを送信

## ✚ 第1回（平成26年12月）【完了】

### ①検討対象範囲を提示

無料公衆無線LANが対象であり、有料公衆無線LANサービス（キャリアWi-Fi）は対象外

### ②認証連携の対象とする無料公衆無線LANサービスの提示依頼

（SSID名、AP数、認証方法、認証必要情報と利用目的等）（1月まで）

### ③フリーディスカッション

## ✚ 第2回（平成27年3月）【予定】

### ①第1回でヒアリングした無料公衆無線LANサービスの現状（SSID名、AP数、認証方法、認証必要情報とその目的のとりまとめの提示

### ②現状（①）を踏まえた認証連携の方向性案の提示とそれに対する各社意見のヒアリング

### ③フリーディスカッション

## ✚ 第3回（平成27年5月～6月）

### ①第2回でヒアリングした認証連携の方向性に対する各社意見のとりまとめの提示

### ②上記を踏まえた実証実験方法の提示とそれに対する各社意見のヒアリング

### ③実証実験の実施時期、参加方法等の具体的な進め方とそれに対する各社意見のヒアリング

- 現状、無料公衆無線LANサービス毎に異なる認証手続きについて、認証の連携による簡素化等を実現する方法を検討するために、現在のサービス状況を調査する必要があることから、自治体やエリアオーナー様に対し、SSID名、利用手続きの方法、利用制限、登録に必要な情報等について調査頂き、事務局まで提示をお願いするもの

## アンケートフォーマット

資料1-1

SSID名	利用手続き (*1)	利用時間・ 利用回数	登録時に 必要な情報	個人情報の 主な利用目的	備考
(例) SOUMU_Free_WiFi	②メールアドレス等 登録して利用	・30分/回 ・1日3回まで	メールアドレス、 氏名、性別、年代	⑤ビックデータとして 利活用するため	専用アプリを使用 (iOS/Android)

※1 「無料公衆無線LANサービスの利用手続きの方式について」④その他（パスポートの提示後に利用等）を選択された場合には、具体的な利用手続きの内容について備考欄に記載して頂く。

- アンケート期間 : 2月2日より順次、アンケートを展開中。  
○ アンケート回収 : 2月27日(金)

外国人旅行者の要望が特に高い無料公衆無線LANについて、一回の利用登録手続きでサービス提供者の垣根を越えて無料公衆無線LANが利用可能となるような環境を実現するための実証実験等を行う。

## 施策の概要

- (1) 無料公衆無線LANが空港、駅、コンビニエンスストア等各地で整備されつつあるが、利用に際してサービス提供者が異なるエリアごとに利用登録手続きを行う必要があることが外国人旅行者の負担となっていることから、一回の利用登録手続きによる利用を可能とするため、認証システム間の高度な連携を安全に実現するための実証実験を行う。
- (2) 本実証実験の結果について、検証結果を仕様書等にとりまとめ、観光庁、公衆無線LAN事業者、エリアオーナー等の関係者からなる「無料公衆無線LAN整備促進協議会」(本年8月29日設立)を通じ、実サービスへの展開を行う。
- (3) 以上により、外国人利用者が日本において異なる複数の無料公衆無線LANを利用する際に、サービス提供者が異なる場合でも一回の登録手続きしか要しない環境の実現を図る。

## イメージ

